

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西三国小学校 学校協議会

1 総括についての評価

○運営に関する評価について→中期目標、年度目標及び取組と指標について承認を得た。
評価について「家庭地域との連携については」5ポイント目標を上回っておりB→Aに変更
・いじめへの対応、不登校児童への支援など、一人一人を大切にし、個に応じた丁寧な対応が進められている。
・図書館の利用を促進ができるようなきっかけを今後考える必要がある。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】
いじめについて 現在大きいいじめに発展しているものはないが、件数は少ないため、引き続き丁寧に対応していくことを確認。
不登校について 少しではあるが改善傾向もみられる。本校においてはサポートルームを活用しているが、児童の行きづらい理由は多岐にわたり、それを分析するなかで丁寧な対応が必要である。
年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】
健やかな体の育成 睡眠についての学習を区協力のもとに行っている。その場では大切だと理解もしているがなかなか生活に結びついていない傾向もある。
年度目標：【学びを支える教育環境の充実】
働き方改革について 児童の状況に対応するためにも人材の増員が必要ではないかという意見が出た。
働き方改革について 図書館の利用を促進ができるようなきっかけとなる手立てをうつ必要がある。
家庭地域との連携について 家庭地域との連携についてはアンケートも5ポイント目標を上回っており、A目標を上回って達成の評価でもよい。B→Aに変更

3 今後の学校運営についての意見

・全体を通して自己評価結果は妥当であり、学校が様々な取り組みを実施することで児童がのびのびと生活している様子を感じている。子どもの思いを受け止め、理解しようとする取り組みをされており、今後ともいねいに子どもとかかわっていただきたい。